

平成25年度再評価対象事業一覧表
(対象: 平成20年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課題)
再評価時点	海岸保全事業 久保田地区	海岸堤防を補強し背後農地・農業用施設はもとより、住民の生命・財産を津波や高潮から防護し国土の保全と民生の安定に資する。	全体事業費: C=69.9億円 工期: S47~H34 延長: 4,762m 計画堤防高: T.P+7.50m 主要工事: 堤防工L=4,762m 消波工L=1,680m 樋管工N=1箇所	(H19末進捗率 87.1%) (年平均進捗率 2.4%) 正面堤区間については、計画高迄完成している。 側面堤区間については約40%完成高まで整備が進んでおり、盛土工事及び地盤改良工事を実施している。	(地域の状況) 背後地の人口、戸数に大きな変化はなく、農地については、ほ場整備事業等が完了し、農業生産基盤が強化された。 重要な公共施設についても大きな変化はない。 (過去の災害実績) S60.8 台風13号による堤体被災L=1,520m 浸水被害35ha	現在 B/C=1.28 H25の算定方式で実施した場合は、B/C=1.80となる。	堤体盛土工事において、建設発生土の利用促進を行う等によりコスト縮減を図る。	再評価実施後5年が経過	継続	
現時点	同上	同上	同上	(H24末進捗率 93.7%) (年平均進捗率 1.2%) 正面堤区間については、計画高迄完成している。 側面堤区間については約37%完成高まで整備が進んでおり、盛土工事及び地盤改良工事を実施している。	(地域の状況) 変化無し (過去の災害実績) 同上	最新のマニュアルに基づき費用対効果を算出。 B/C=1.91	・再生材の積極的利用に努める。 ・建設副産物の有効利用に勤める。	同上	整備対象の海岸堤防は、有明海の軟弱地盤上に干拓事業により造築されており、不等沈下による亀裂発生等、脆弱化が著しく高潮の被害にさらされている。 また、背後農地では台風や冬期波浪による越波被害が発生している状況にある。 このため、本事業による堤防補強を実施しているところであり、平成24年度迄に事業費の93%が完了している。 高潮等からの被害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保するため事業の継続は必要である。	
理由等				進捗率 ・計画的な事業実施により、計画どおりに進捗		農作物単価(麦、大豆)がH20再評価時と比べ増加した。 (麦)H20:90,600 →H25:130,000 (大豆) H20:184,000→ H25:288,000 農地被害額(ほ場整備復旧費)について、過去の事業費単価が現在価値化により増額したため、費用便益(B)が増額した。 S55事業費→H20換算(3.422) S55事業費→H25換算(4.352)				

